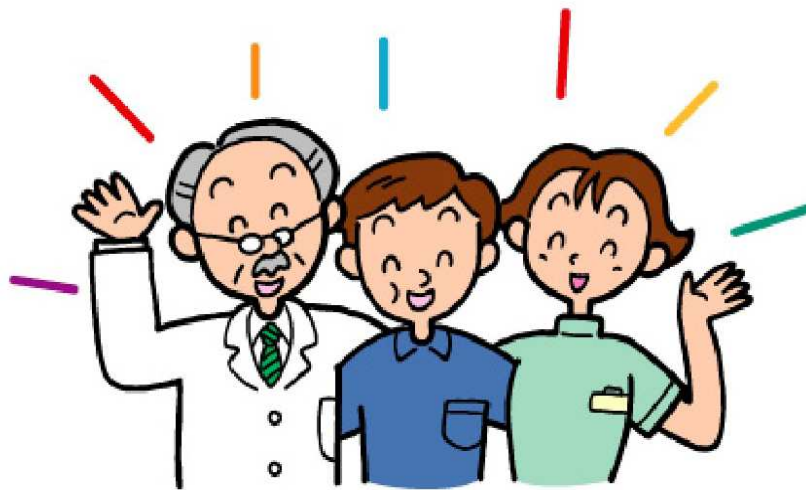


神奈川県放射線友の会活動に関する アンケート調査集計報告 2020 年度



(公益社団) 神奈川県放射線技師会 2006/01/13
診療放射線技師の接遇ガイドラインより

神奈川県放射線友の会

構想委員会(アンケート調査集計報告担当)

◎福田利雄 ○早瀬武雄

小松崎眞一、櫻田晃、上前忠幸、中村豊、橘 亨、長谷川武

橋口邦紘、草柳伸彦

協力(企画・広報・総務)

小嶋昌光、本田義和、仙臺眞紀夫

神奈川県放射線友の会活動に関する アンケート調査集計報告

1. はじめに

2020年1月実施の神奈川県放射線友の会（略称神奈川放友会）活動に関するアンケート調査にご協力頂きありがとうございます。

2020年（令和2年）に開催される東京オリンピックによる経済波及効果は非常に大きく、日本は活気にあふれ、明るい社会と好調な経済が予測されますが、その5年後には「2025年問題」という大きな課題が待ち構えています。5年後、10年後、日本は少子高齢化がすすみ、更に超高齢者社会に突入している事は確実です。本会（神奈川放友会）の会員の多くは、定年退職し第二の人生を生きる方が多いと思われれます。高齢者の組織と言って良いでしょう。「老人クラブ、お年寄り増えても会員減」という記事を紹介した事がありますが（参照：Newsletter Vol.13 No.1 第49号 2020/01/01）、日本の少子化、定年制の延長、定年後常勤で働く人が増加、インターネットの普及等による情報入手などにより、「老人クラブ」の魅力がなくなって来たからです。紹介記事にも述べましたが、放射線という共有の関係を持つ医療系技術集団である本会と老人クラブを同一に論ずる事は出来ませんが、本会に入会する会員が減少、会員数が横ばいである事は事実です。「放射線の安全・安心に関する基礎知識の社会的啓発活動」を活動目標の基本概念として、魅力ある放友会として活動する事が会員の皆さんの一致した声であると思います。役員一同、これからの高齢化社会に放射線同職集団である会員の皆さんと共に立ち向かい、第二の人生を共に楽しみ、生き活きと過ごしたいと考えております。

2. 調査目的

今回のアンケート調査は「魅力ある神奈川放友会づくり」、「仲間（会員）を増やす」、という目標に向けて、これからの本会活動の指針となる情報を得るために実施したものであります。多くの会員の皆様より貴重なご意見を頂きました。役員一同で集計結果を分析し、今後の神奈川放友会の活動の方向性を検討し会の存続発展に生かしたいと考えております。ご協力ありがとうございました。

本会へのご意見ありましたら、大歓迎です、下記メールアドレスにお願いします

Kanagawahohyuh2009@jcom.zaq.ne.jp

3. 調査方法と回答結果

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| ① 実施期間 | 2019年12月25日郵送
2020年1月31日までにアンケート回収 |
| ② 対象者 | 神奈川県放射線友の会 会員 63名 |
| ③ 回答率 | 63.5% (40 / 63) |

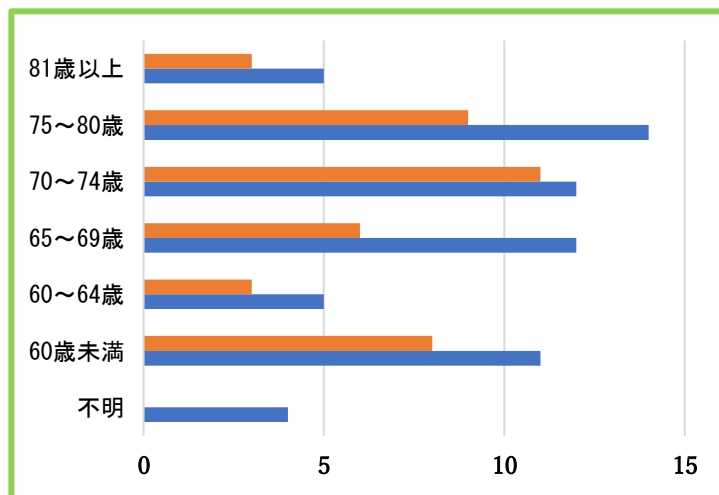
4. 調査結果

日本は、これから高齢化社会に進んでいく。本会の会員の年齢層は30～80代と年齢巾が広い。年齢を、60歳未満、60～64歳、65～69歳、70～74歳、75～80歳、81歳以上、の6区分にて回答頂き、すべての設問に対し、合計および各年齢層の回答・意見を集計し分析を行った。今回、回答して頂いた40名のうち60歳以上の会員が約80%を占めていた。また80歳を超え、今も元気でご活躍の会員が多数おられ、今回のアンケート調査にも協力して頂きました。本当に素晴らしい先輩方であり、ご支援頂いたこと深く感謝申し上げます。

問1 あなたの年齢お知らせください

年齢	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～80歳	81歳以上	計
人数	8	3	6	11	9	3	40

*年齢区分はアンケート調査期間（2019/12/25～2020/01/31）回答時の年齢である



今回アンケート調査に回答頂いた会員の年齢層（区分）は表、グラフの通りである。各設問に対し、チェックされた項目に対して合計および各年齢区分でも集計を行った。年代間で回答の違いがあるか、また各年代層による神奈川放友会への意見、社会情勢に関する不安、高齢化社会への問題意識等を知る目的もあった。

（青色：神奈川放友会に登録されている会員 63名 赤茶色：アンケート調査に回答を頂いた会員 40名）

神奈川放友会事務局管理の会員名簿によると、2020年に傘寿（80歳の祝い）を迎える会員が4名おられ、80歳以上の会員が12名となる。60歳未満の会員が8名アンケート調査に協力して頂きましたが、この内6名の方は同じ病院で働いており、先輩、上司に勧められ入会されている。貴重な意見も頂きました。年齢巾が広い会員に対し、同じように満足度を感じてもらおう活動を展開する事が今後の課題であるように思う。

問1 執行部見解(会員年齢構成に関して)

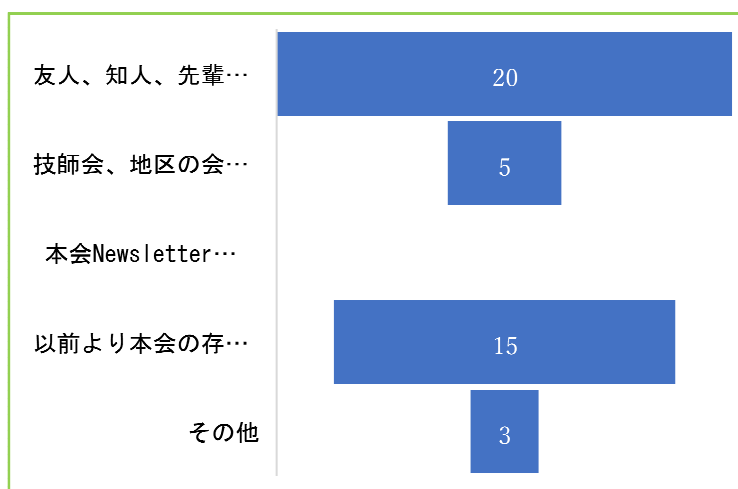
- ① 2020年に、80歳（傘寿）を迎える会員が4名おられます。放談会開催時にお招きしお祝いの会を開催し歓談する企画は良いと思われるので検討する。
（会員の特別な長寿の祝い、慶事は放談会での話題となると思われる。）
- ② 今回のアンケート調査に関連して、会員の年齢構成をある程度知る事ができた。
有効に活用してゆきたい。

問2 あなたが神奈川放友会に入会した動機についてお知らせ下さい(☑は一つ)

あなたが神奈川放友会に入会した動機についてお知らせ下さい		計	～59	60～64	65～69	70～74	75～80	81～
①	友人、知人、先輩にすすめられて	20	8	1	3	2	6	
②	技師会、地区の会員にすすめられて	5		2		2	1	
③	本会Newsletter、ホームページをみて	0						
④	以前より本会の存在を知っていたので、自分からすすんで	15			3	7	2	3
⑤	その他	3		1			2	

その他（3名の方より）

- (1) 設立当初より携わっております
- (2) 本会立ち上げの頃より関与し会の活動に参加している
- (3) 現役で総務委員会委員であった時に神奈川放友会が発足した。その際入会を勧められ入会した



アンケート調査結果、表、グラフより明らかに本会に入会された動機は、「友人、知人、先輩にすすめられて」、「以前より本会の存在を知っていたので自分からすすんで」の二つであった。65歳以上の会員では、神奈川県放射線技師会の関係で本会の存在を知り得るが、65歳未満の会員全員の入会動機は、友人、知人、先輩のすすめであり、本会の存在を知らなかった事も考えられる。技師会、地区会員のすすめで入会された方が多いのではと予測していたが意外と少なかった。

本会の目標の一つである、仲間づくり（会員を増やす）のヒントが、この表から伺えると思われる。本会会員の方が、これから第二の人生を迎える友人、知人の方に、本会を紹介し入会をすすめる活動を展開することである。当然の事であるが、本会が魅力ある会であることが第一前提条件である。半面、「友人、知人、先輩にすすめられて」入会される方は、会員の高齢化に伴い、今後は多くは望めないのではと危惧している面もある。

本会広報活動主体である「機関誌 Newsletter とホームページ」を見ての入会者が「0名」であった。県内には放射線医療に関する分野で活動している組織が多くある。神奈川県放射線技師会、神奈川CT研究会、核医学技術研究会、放射線管理士部会、他・・・等である。数多くある組織のホームページ等に本会紹介の記事（リンク先紹介）等を掲載して頂くなど、インターネット情報化社会に対応すべく広報活動の範囲を広げ、神奈川放友会の知名度をあげ、多くの人に本会の存在を知ってもらう・・・その様な活動が今後必要になる様に思われる。

問2 執行部見解(神奈川放友会に入会した動機に関して・・・)

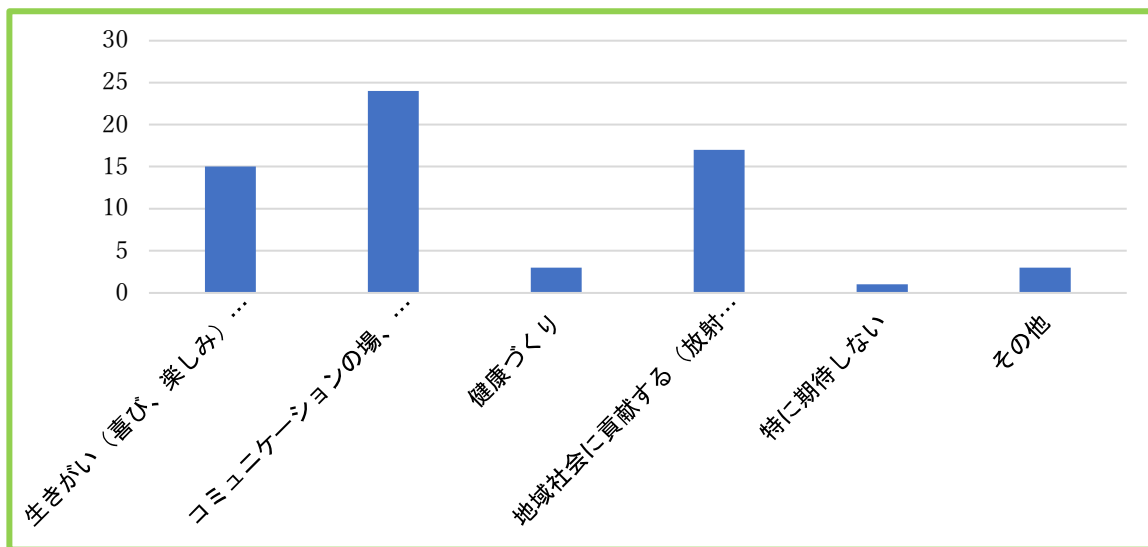
- ① 仲間づくり（会員を増やす）ためには組織の強化が必要という、別刷り提案文書添付での意見が寄せられた。役員会で十分に検討したい。横浜市に住む会員が32名、本会の半数を占めていた。
- ② 機関誌 Newsletter とホームページの有効活用を図り本会の広報活動を充実させて行きたい。
- ③ 神奈川県放射線技師会との情報を密にして入会促進活動を行うことを考えて行きたい。神放技広報誌「かながわ放射線だより KART」に広報、地区技師会に本会の存在を広報するその様な活動が可能か検討し考えて行きたい。

問3 あなたは神奈川県放友会にどのような事を期待していますか(☑は2つまで)

あなたは神奈川県放友会にどのような事を期待していますか		計	～59	60～64	65～69	70～74	75～80	81～
①	生きがい(喜び、楽しみ)作り	15	3	1	1	4	4	2
②	コミュニケーションの場、仲間づくり	24	2	3	3	7	6	3
③	健康づくり	3	1	1		1		
④	地域社会に貢献する(放射線の正しい理解への啓発活動、社会への奉仕活動等…)	17	3	1	4	5	4	
⑤	特に期待しない	1	1					
⑥	その他	3				1	2	

その他 (3名の方より)

- (1) 日本放射線技師会のレベルアップ (現 日本診療放射線技師会)
- (2) 今後の更なる進化を希望しています
- (3) 仲間づくりと社会貢献を目標にしたい



この設問に関してのみ、チェック☑を2つにした。本会へ最も期待する項目は何かを知るためである。その結果、本会へ期待する項目としては、コミュニケーションの場、仲間づくり、地域社会への貢献、そして生きがい(喜び、楽しみ作り)が上位を占めた。この3つの項目は、本会がこれまで活動目標として実践している課題であり、あらためて会員の皆様と目標の共有ができていたことを確認できた。ただ1名であるが、60歳未満の会員より、特に期待しない、という意見があった。本会は全会員に満足してもらえるような活動をこの10年来展開して来ましたが、まだ期待に応えていないという貴重な意見でもある。各年齢層が求めている企画、活動計画(案)を会員の皆様と共に考えて行く必要があると思われた。

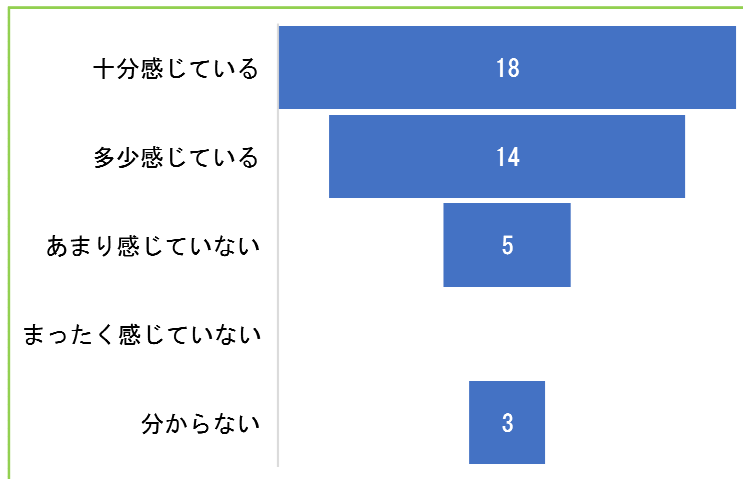
問3 執行部見解(本会に対する期待・・・)

本会を構成する多くの会員は放射線に関わる業務を経験してきた医療従事者&関係者である。定年退職後、第二の人生を歩んでいても、人生の目的の延長線上に放射線は存在していると思う。一般の方に放射線を理解してもらう活動、放射線によるいじめや風評被害を無くす活動・・・この様な活動を通じて、やりがい、生きがいを見出す事ができ、活動を通じてコミュニケーションを深める事ができると思う・・・その様な場の提供が求められているものと認識している。

県民に対する放射線・放射能に関する正しい情報の啓発は本会が活動目的としているので、今後も継続して活動して行く本会の基本概念である。

問4 あなたは、日常どの程度「生きがい」を感じていますか（☑は一つ）

あなたは、日常どの程度「生きがい」を感じていますか		計	～59	60～64	65～69	70～74	75～80	81～
問4	① 十分感じている	18		2	2	6	5	3
	② 多少感じている	14	4	1	3	4	2	
	③ あまり感じていない	5	2			1	2	
	④ まったく感じていない	0						
	⑤ 分からない	3	2		1			
	⑥ その他	0						



日常生活において「生きがい」を感じて生活を送る事はとても大事である。今回の調査では約80%の方が生きがいを感じているという結果であった。大変喜ばしい結果であったが、5名の方があまり感じていない、という回答であった。理由は明記されていなかったが、生きがいのある人生とない人生では明暗がはっきりしていて、その差は歴然としていると思われる。生きがいがあるという事でそれ以外の事にも頑張れると思う。

放友会の Newsletter にても、人生を楽しく過ごしている会員の記事が多く掲載されている。誰でも好きな事、得意な分野を持っている、それに挑戦し楽しんで「生きがい」を感じて欲しいと思う。

また、分からないと回答した方が3名いましたが、この方々はいずれも週5日以上現役で仕事をされている方である。考えられるのは、余りにも仕事が忙しく、自分の好きな事ができない、仕事、仕事の毎日ではないでしょうか。仕事が生きがいとを感じる方もいますが、時には息抜きが必要だと思います。何か気分転換できるような情報を本会より発信する必要性を感じます。

今回のアンケート調査で会員の方から寄せられた日常生活における多くの情報（趣味、ボランティア等）は「生きがい」のある生活を送るために、非常に参考になり役立つものと思っている。仕事（常勤、パート）に従事されている会員が約30%おられる、という事も今後の放友会活動に関して認識しておく必要があると思われる。

問4 執行部見解(日常生活における生きがい・・・)

- ① 今回実施したアンケート調査は、現役で医療業務（病院）に従事している65歳以下の会員と、医療業務の仕事から離れた65歳以上の会員が日常生活を如何に過ごされているかを知る目的もあった。これから迎える高齢化社会に対し、生きがいを持って、共に社会貢献し、楽しい人生を有意義に過ごすために本会が果たす役割、活動の指針となる多くの情報が得られた。
- ② 60歳未満8名のうち、4名の方が「あまり感じていない」「分からない」と回答している。今回の調査では他の年齢層に対し比率が高い。今回の調査結果のみで即断は出来ないが、人生の先輩として、定年退職後の楽しみ、生きがいのある生活とは、その後の暮らしについて、何か役立つ情報を発信する活動は有意義であると思っている。人生の生きがいは人それぞれで違うことは理解している。

問5 あなたの日常生活（仕事）についてお知らせください（☑は複数可）

あなたの日常生活（仕事）についてお知らせください		計	～59	60～64	65～69	70～74	75～80	81～
問5	① 週5日以上、仕事(就業・常勤)している	14	8	2	3		1	
	② 週2～3日、仕事(就業・パート)している	5			2	3		
	③ 仕事(就業)はしていない	15				8	7	
	④ 畑仕事、庭仕事をしている	7			3	1	1	2
	⑤ 趣味に打ち込んでいる	11		2	2	4	2	1
	⑥ ボランティア(社会奉仕活動、通学児童の安全パトロール見守り隊等、その他)	7			1	2	3	1
	⑦ 親せき、知人の仕事手伝い	0						
	⑧ その他	6		1	1	2	1	1

◎趣味に打ち込んでいる（11名の方より）

- (1) B級グルメ巡り (2) 骨董市めぐり (3) ギャンブル (4) 切手コイン集め (5) ゴルフ
 (6) 温泉めぐり (7) ジョギング (8) テニス (9) 水泳 (10) 競馬 (11) 麻雀 (12) カメラ
 (13) 基本的に毎日午前中ウォーキング、8000歩目標にしている
 (14) 音楽演奏、オーケストラに参加、および主催

◎ボランティア活動されている（7名の方より）

- 81歳以上区分の男性会員の方から具体的な内容が報告された
 (1) 復元後休耕農地に対する栽培に適した維持管理
 (2) 遊休市有地（横浜）に対する草花植栽と環境美化

◎その他（6名の方より）

- (1) 週1回バイト
 (2) 仕事これからやりたい
 (3) 月に数回仕事&親せきや親の世話&NPO役員としての活動
 (4) 週1回開業医レントゲンのお手伝いをしている。主に注腸検査です
 (5) 自治会役員をしながら地区活動をしている

今回のアンケートで仕事をしていないと回答された方は15名、他の20数名の方は継続して医療の仕事に毎日ではなくても従事されていると思われた。60歳で定年を迎えても本人の希望があれば65歳まで働ける再雇用制度（法的義務）がはじまってから5～6年、高齢者が多く働いている社会となっている。定年制も65歳、70歳と延びる事も考えられる。診療放射線技師養成大学で技師教育を担当されている会員より、全国的に大学新卒者の就職難について報告されている。定年後も働く高齢者が増えた事、2017年以降病院や医師の数が減少している事も原因の一つと思われる。

放射線診療業務に従事した者として、この現実を深刻に受け止め知っておくべき事柄であると思う。

仕事も「生きがい」のひとつではあるが、日常生活で仕事以外の「生きがい」、例えば、趣味を生かす、ボランティア活動に参加する、スポーツに参加するなどして、第二、第三の人生を有意義に過ごして欲しいと思う。神奈川放友会の活動はその仲立ちを務める情報を提供する事にある。

問5 執行部見解(日常生活仕事に関して・・・)

- ① 多くの方より、趣味のあれこれ、ボランティア活動、地域サークル活動、畑や庭仕事、スポーツジムでの運動、旅行、温泉巡り・・・等の紹介があり、多くの会員の方が人生を楽しく有意義に過ごされている事を知る事ができた。今後の放友会活動（放談会等）に役立つ情報であった。
 ② ボランティア活動されている方が7名おられた。活動を通して生きがいのある生活を過ごされていると思う。ぜひ、本会の **Newsletter** に原稿投稿をお願いしたい。(参考) 第42号に女性会員によるNPO法人プラチナ美容塾での活動に関する紹介記事がある。美容の力で高齢者を笑顔にする、健康寿命を延ばす、その様なボランティア活動とても素晴らしいと思った。

問6 あなたが住んでいる地域のサークル活動についてお知らせください(チェック☑)

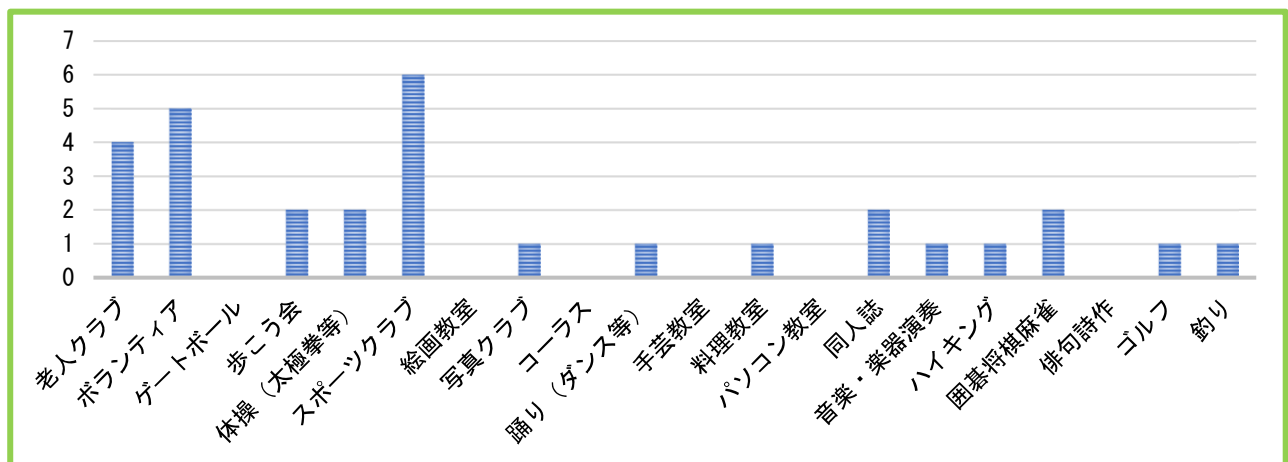
あなたが住んでいる地域のサークル活動についてお知らせください		計	～59	60～64	65～69	70～74	75～80	81～
①	サークル活動に参加している	17	1		2	6	6	2
②	サークル活動には一切参加していない	23	7	3	4	5	3	1

問7 あなたが参加している地域のサークル活動をお知らせください。(☑は複数可)

あなたが参加している地域のサークル活動をお知らせください		計	～59	60～64	65～69	70～74	75～80	81～
①	老人クラブ	4				1	3	
②	ボランティア	5			1	1	2	1
③	ゲートボール	0						
④	歩こう会	2				1	1	
⑤	体操(太極拳等)	2				1	1	
⑥	スポーツクラブ	6			1	3	2	
⑦	絵画教室	0						
⑧	写真クラブ	1						1
⑨	コーラス	0						
⑩	踊り(ダンス等)	1					1	
⑪	手芸教室	0						
⑫	料理教室	1				1		
⑬	パソコン教室	0						
⑭	同人誌	2					1	1
⑮	音楽・楽器演奏	1		1				
⑯	ハイキング	1						1
⑰	囲碁将棋麻雀	2					2	
⑱	俳句詩作	0						
⑲	ゴルフ	1				1		
⑳	釣り	1			1			
㉑	その他	8	1	2	2	2	1	

その他参加している活動(8名の方より)

- ① テニスクラブ(2名) ② 認定NPOでの役員として多種の活動 ③ 麻雀 ④ 男の談話室
- ⑤ 相模原市がすすめている「いきいき百歳体操」マンション内で週一回活動している
- ⑥ 演奏活動ではありますが、正確にいうと地域のサークルではなく市民オケに参加している
- ⑦ 以前ですが、町内会役員でスポーツ推進委員をやっていた



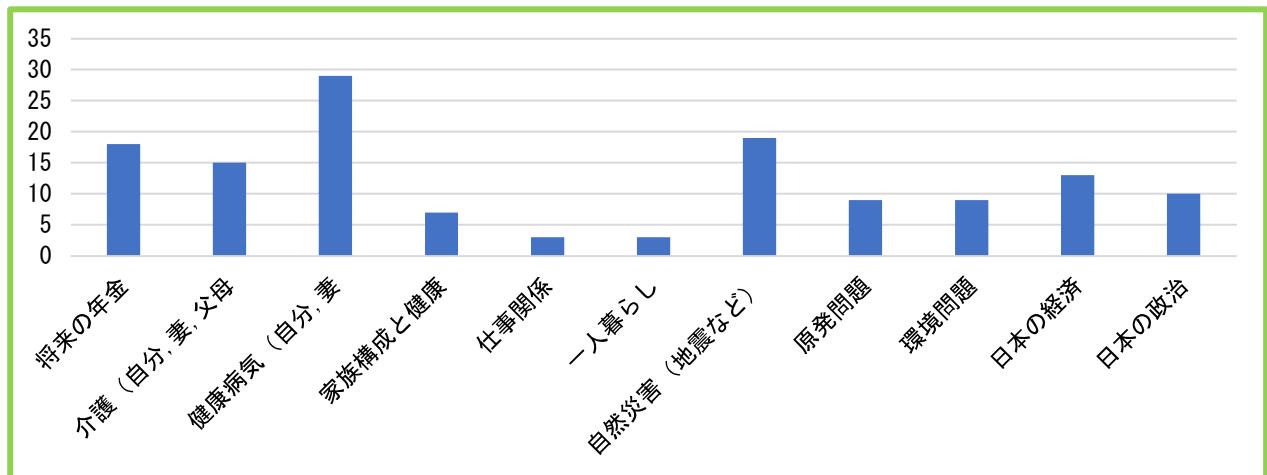
今回のアンケート調査では、サークル活動に一切参加していないという回答者が23名と多かった。意外であった。その理由をこれから分析・検討する必要があるのではと考えている。これから、入会促進活動を進めるうえでの対象者が、「神奈川県放友会」を一種の地域サークル活動と思っている事はないだろうか、これからの高齢化社会において地域に関わる活動はとても重要になってくると思われる。お互いを良く知り第二の人生を豊かに生きる意味でも地域のサークル活動は重要である。

問6 問7 執行部見解(地域のサークル活動について・・・)

第二の人生を豊かに生きる意味で、地域のサークル活動に参加することは有意義である。
 老人クラブの活動、ボランティア活動、人の役に立つ事は満足感があり生きがいを感じるのでは・・・。
 健康維持のための運動は必要である(スポーツクラブ、ウォーキング等)
 放談会において、地域サークル活動・健康維持に実践している事、高齢者が共有する不安要素など
 について、その内容、実態についてお話が聞ければ参加する方も増えるのではと思われる。

問8 超高齢化社会に関して、あなたが不安に思っている事お知らせ下さい(☑は複数可)

超高齢化社会に関して、あなたが不安に思っている事お知らせ下さい		計	～59	60～64	65～69	70～74	75～80	81～
①	将来の年金	18	8	2	2	3	2	1
②	介護(自分、妻、父母)	15	5	2	4	2	2	
③	健康病気(自分、妻)	29	4	3	4	8	7	3
④	家族構成と健康	7	2	1	2	2		
⑤	仕事関係	3	3					
⑥	一人暮らし	3	1			1	1	
⑦	自然災害(地震など)	19	1	2	2	9	4	1
⑧	原発問題	9			2	3	3	1
⑨	環境問題	9		1	2	2	3	1
⑩	日本の経済	13	3	1	3	4	2	
⑪	日本の政治	10	1		2	4	2	1
⑬	その他(無記入)	2	1		1			



回答の最も多かったのが、「健康病気(自分、妻)」であった。これから向かいつつある高齢化社会を考えた場合、当然の不安要素である。これからの人生を楽しむためには健康が一番である。年齢区分で60歳未満8名の方が「将来の年金、健康、介護、仕事」等に不安要素として多くチェックされていたが、65歳以上の方は「自然災害、原発、環境問題、日本の政治経済」に多くチェックされていた。年齢区分によるこれからの高齢化社会に対する考え方、捉え方の相違として興味ある結果であった。

問8 執行部見解(高齢社会に対する不安要素・・・)

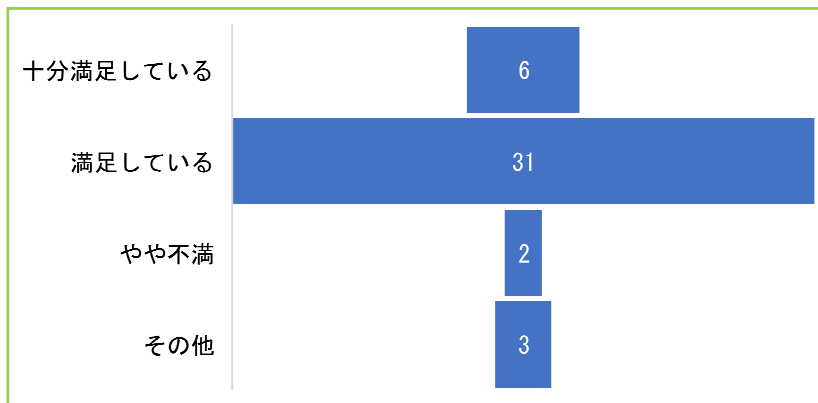
- ① これからの高齢化社会、年金、介護は深刻な問題である。本会として様々な情報を発信する必要があると考える。
- ② 原発問題は、「放射線の安全・安心に関する基礎知識の社会的啓発活動」を活動目標の一つとしている本会にとって、継続して関心を持って取り組んでいく問題テーマである。
- ③ 一番回答の多かった「健康病気(自分、妻)」について、会員の経験談を「放談会」等で話し合える場所の提供を考えています。
- ④ 書く事はボケ防止につながる。Newsletterへの投稿をお願いしたい。

問9 神奈川放友会の広報活動、機関誌 Newsletter、ホームページ HP について(チェック☑)

神奈川放友会の広報活動、機関誌 Newsletter、ホームページHPについて		計	～59	60～64	65～69	70～74	75～80	81～
問9	① 十分満足している	6	1	1	1		3	
	② 満足している	31	6	2	5	10	6	2
	③ やや不満	2				1		1
	④ その他(無記入)	3	1			1	1	

その他 (3名の方より)

- (1) 時々、超専門的で難しい内容の記事が掲載されることがある。最後まで読めません。
- (2) Newsletter の頁数を増やしてほしい。
- (3) HP は楽しみにしている、HP への投稿システムを検討されては・・・



本会活動の広報として Newsletter、ホームページについては95%以上の方が満足されているという結果であった。
 やや不満に感じている会員が2名おられた。満足度100%をめざし、広報委員会でその他の意見も参考に、なぜ不満に感じるのか、深く話し合う必要があるのではと思われた。

(参考意見)

Newsletter に関して、昨年実施したアンケート調査で寄せられた会員の意見 (原文 2019/04/01)

毎回楽しみにしております。皆様の足跡と共に新たなコミュニケーションの場としての会での親睦以上の視点での参加意識には敬服しております。放射線管理という軸足の上に、経験と知見の延長線での新たな課題や問題点の提起は重要であり幅広い方々にもっと活動の意義を発信する必要性を感じます。

今回のアンケート調査で (Newsletter, HP に関して) 寄せられた会員の声

ニュースレターやホームページも大変充実していると思われませんが、それでも前回のアンケートでは、特にホームページは存在を知らなかったという意見があり、宣伝を何回してもなかなか浸透しないのは残念に思います。



問9 執行部見解(本会広報活動 Newsletter、ホームページ HP について・・・)

- ① その他意見にもあるように、あまり専門的にならないように、放射線に関する新しい話題等を提供して行きたいと考えている。
- ② Newsletter 「みんなの広場」を充実したページになるよう最新の情報収集に努める。
- ③ 会員の皆様からの原稿(趣味、旅行、ボランティア活動・・・)お待ちしております。
 問合せはメールで Kanagawahohyuh2009@jcom.zaq.ne.jp
- ③ 会員の皆さんに気軽に、Newsletter に原稿投稿できる仕組みを検討して行きたい。

問 10 神奈川放友会の活動への参加についてあなたの考えをお知らせ下さい(チェック☑)

神奈川放友会の活動への参加についてあなたの考えをお知らせ下さい		計	～59	60～64	65～69	70～74	75～80	81～
問10	① 企画された活動計画には積極的に参加して行きたい。	15		1	3	6	4	1
	② 役員として会活動に参加したい。(役員として参加しても良い)	6		1		2	3	
	③ 活動計画案には事情により(高齢・体力・他)参加出来ないが、Newsletter、ホームページ等を楽しみにしている。これからも本会の発展を願っている	20	7		3	5	3	2
	④ その他(無記入)	5	1	2			2	

その他(4名の方より)

- (1) 予定があれば参加したい
- (2) 今後も考えを述べて行きたい
- (3) 神奈川放友会の存在は必要です。発展を祈る。積極的に参加する。
- (4) ここに来て、母親の介護等も出て来たため、活動への積極的参加が難しくなっている。

この設問に関する回答は、企画された活動に積極的に参加する、参加できないが半々の結果となった。年齢、体力にも要因があると思うが、企画されたイベントの場所への所要時間、必要経費も参加出来ない一つの理由と考える事ができる。今後、高齢者は地域での活動が主となると予測される。国、行政は地域包括ケアシステムの推進を働きかけているからである。

本会の活動計画案は平日に企画される事が多いと思われる。60歳未満、現役で働いている方の参加は難しく、また土日開催に関しても家族サービス、その他予定等で参加できない事が多いのではと思われる。各年齢層の声を参考に今後の活動計画を検討して行く事が大事であると思われる。

(この設問に、現在役員として活動しているという項目が必要であったと反省している)

問 10 執行部見解(本会活動計画への参加・・・)

アンケート調査全体結果より本会の活動は良い評価を受けている様に思われる。これからの高齢化社会に対し会員の期待に応える活動を検討し立案し実行して行く事が求められていると認識している。会の活性化は執行部の責任です。ワンチームで頑張っていますので、会員の皆さん一緒に活動に参加しましょう。

問 11 2020年度活動計画(案)について (チェック☑)

2020年度活動計画(案)について			計	～59	60～64	65～69	70～74	75～80	81～
問11	① 東京競馬場観戦・参戦(2020年5月予定)	参加する	7		1		3	3	
		参加しない	27	8	1	6	8	4	
		無記入	6		1			2	3
	② 東京電力横浜火力発電所見学会	参加する	16	1		3	6	6	
		参加しない	16	7	1	3	4	1	
		無記入	8		2		1	2	3
	③ 東京電力柏崎・荻羽原子力発電所見学	参加する	8			2	2	3	1
		参加しない	22	8	1	4	7	2	
		無記入	10		2		2	4	2
	④ 放談会(年2回程開催、技師会事務所、他)	参加する	16			4	6	4	2
		参加しない	15	8	1	2	3	1	
		無記入	9		2		2	4	1
	⑤ 希望する企画(見学先等)		3			1	1	1	

◎希望する企画・見学先(3名の方より)

- (1) 企業の技術ライブラリー、ギャラリー等(例. Canon 等)
- (2) 国会見学、昭和公園の散策
- (3) 野球観戦(DeNA-Tigers 戦)

◎その他（7名の方より）

- (1) 予定が不定期バイトのため、予定があえば参加したい
- (2) 申し訳ありません忙しすぎてスケジュールが詰まっています
- (3) 放談会一度は参加したいと思っている。
- (4) 日程により参加したいと思っています
- (5) 現状の放射線技師養成校（養成大学）の実態を知って欲しい。全国的に就職が難しい（新卒者）
- (6) 義母の介護があるため一泊の企画には参加できない
- (7) 競馬観戦以外は、業務の都合上、参加可能であれば出来るだけ参加したいと思います

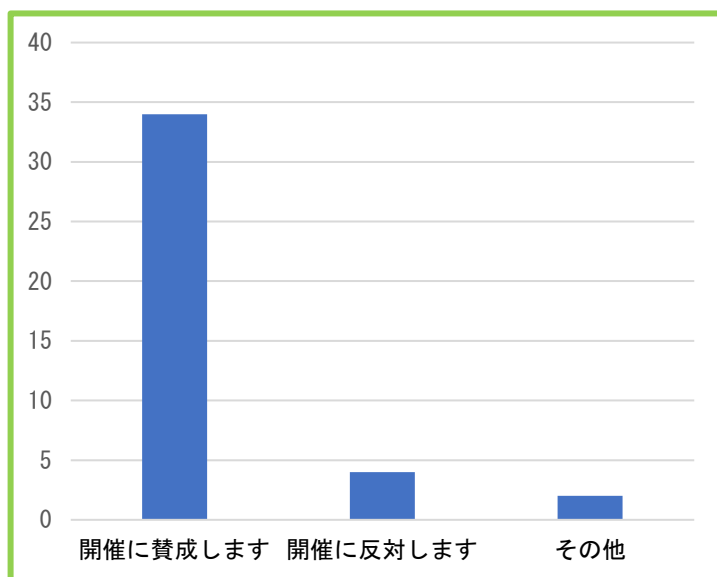
2020年度活動計画案で、横浜火力発電所見学希望者が16名と多かったが、新型コロナウイルス感染者が横浜で発生、感染予防の観点から危険性を考慮し、3月開催は中止・延期となった。また、放談会に参加したいという会員が16名と多くおられた。とても嬉しい結果である。肩肘張らず、和やかな雰囲気、フランクに何でも話し合える「憩いの館」、このコミュニケーションの場を定着させる活動もこれからの本会の課題の一つになると思われる。反面、放談会に参加しないと回答された方も15名と多い事が残念な結果である。年齢層を見ると現役で仕事されている会員の方のほとんどが不参加回答であった。参加すると回答されたのは65歳以上の会員であった。無記入の方が9名で、参加するor参加しない、という気持ちが半々の方と思われた。

問11 執行部見解(2020年度活動計画案について・・・)

- ① 横浜火力発電所見学会は2020年3月26日（木）に開催する予定であったが・・・
（2020年1月から世界で猛威を奮っている新型コロナウイルス感染予防から中止とした。）
- ② 東京競馬場観戦参戦、例年通り5月に開催する予定
- ③ 放談会は年2回開催予定（日時会場未定）
- ④ 東京電力柏崎刈羽原子力発電所見学に関しては引続き役員会で検討する。
- ⑤ アンケート調査にて希望する企画として提案された見学先について役員会で検討する。

問12 神奈川放友会創立15周年記念大会開催企画について(チェック☑)

神奈川放友会創立15周年記念大会開催を企画しています		計	～59	60～64	65～69	70～74	75～80	81～
問12	① 開催に賛成します	34	6	3	6	8	8	3
	② 開催に反対します	4	2			2		
	③ 記入なし	2				1	1	



神奈川放友会創立15周年記念大会開催に関して、開催に賛成という回答が34名（85.0%）と大多数を占めた。15周年を迎える2022年がどのような社会情勢となっているか不明であるが、開催に向けて、会員の声を聞きながら、役員会で企画・検討を重ね準備して行く必要がある。

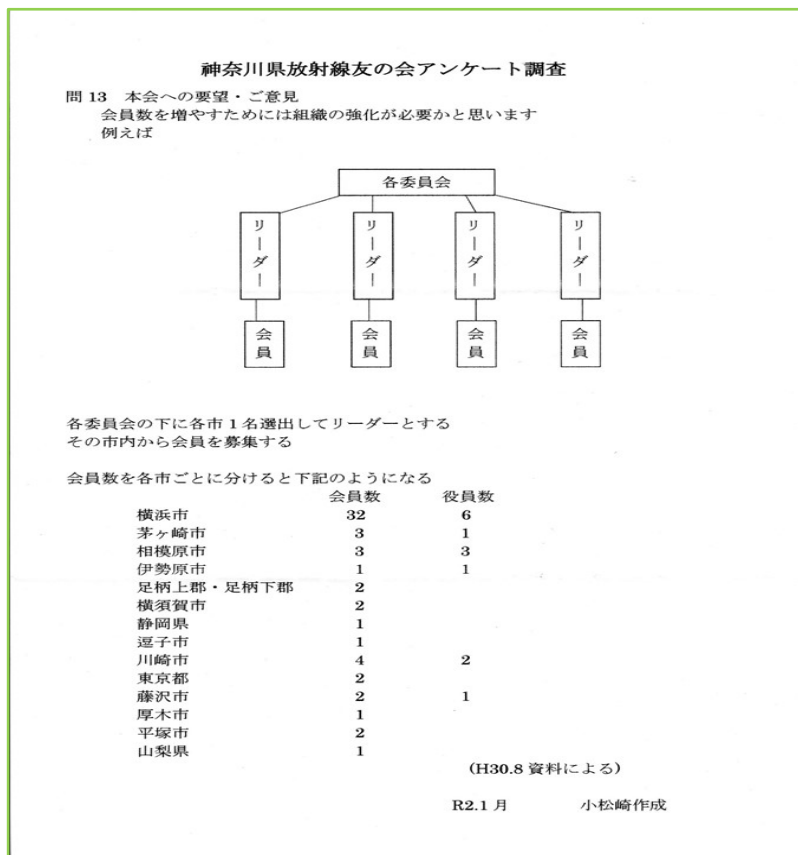
問12 創立15周年記念大会開催について
実行委員会を組織し、会場、記念大会のテーマ等検討し、多くの会員が参加できる楽しい会となるよう準備していく予定である。

問 13 本会への要望・ご意見

- (1) 現状の活動に満足しています。役員の方ご苦労様です。日時と体力が続く限りいろいろな催しごとに参加する様勉強して行きたいです。今後とも。
- (2) 現在不定期（曜日を決めない）にて非常勤としてクリニックにて技師業務を継続しています。予定が決まるのが約1週間前となり企画事業に参加出来ていません。会員である事で満足です。
- (3) 現状で良いと思います
- (4) 放友会という団体が神奈川だけの活動から、他県へも同様な活動組織があってもいいのではと考える。各県の技師会と連動した活動が他の県で参考になり厚みのある「横断的放友会」が生まれるのであればもっと大きな友好活動に発展できるのではとも考える。前回のアンケートでも記載しましたが、医療全体の方向性や求められる要求事項に沿った様々な変革が行われているとき、現職から離れたからこそ全体を俯瞰し、理解でき提言できるものが見えてくるのではと感ずることがある。そのような意見も多く広報したい。神奈川県診療放射線技師会主催の活動と並走し、提言や広報活動が有効に作用できるのであれば、それは一つの活動として意義のあるものと考え
- (5) 今後放友会のご発展をお祈り申し上げます
- (6) 多くの会員にとって、超高齢社会の到来で起こる「2025年問題」は非常に深刻である。
どの様な問題があるのか、また現役世代と助け合っていくには・・・
テーマとして取り上げて広報して欲しい。若者の力になりたい。
- (7) 会の情報発信し、活動の理解者に伝えましょう
- (8) 巻頭言の字の大きさ濃さなど読みやすい。役員の方の活躍に感謝致します。
- (9) アンケート回答には関係ありませんが、以下の項目を主張し団塊世代は数が多いので「団塊党」でも作りたい
 - ①地球温暖化などの地球環境悪化阻止活動を支援する
 - ②核兵器を全廃し、地球上から戦争を無くし平和な地球をめざす
 - ③健康寿命を延伸する活動を推進する
 - ④健康な人は勤務を継続できるよう定年制を廃止する
 - ⑤75歳以上の医療費は1割負担を継続する
 - ⑥福島原発事故の汚染貯留水は蒸発してトリチウムのみ大気に放出する
- (10) 役員の皆様大変お疲れ様です。健康にご留意の上益々のご活躍お祈り申し上げます
- (11) 一泊旅行を企画してはどうでしょうか、柏崎・荻原原発も結構ですが他のアイデアも・・・
同人誌の出版企画の発想を指導してほしい
- (12) 別刷り提案文章添付(付図1)
- (13) この3月で82才になりますので体力に自信がもてず気力だけでいきているようなものです。
本会の活動に積極的に参加できず申し訳ありません。本会の発展を願っております。
- (14) 役員の皆様方の環境問題特に放射線の安全活用社会への啓発活動に並々ならぬ努力に感謝申し上げます
- (15) 自分が生まれた町の紹介をニュースレターに載せる企画はいかがでしょう。
私は香川県小豆島で生まれ高松で育ちました。小学校は37名で3クラス、中学校は50名で3クラス、55名で8クラス。島は観光地で春夏秋冬は賑やかでした。現在は春秋に観光客は多いです

(16) 会運営としては、大変有意義で行動力も大変素晴らしいと思います。ただの任意団体であるので、知名度に欠け、その活動が多方面に理解されていないと思われ、会員が増加しないのもこの辺りにあるの难道うかと考えてしまいます。少人数精鋭では、今後の発展も難しいので、会員を何とか増やせないか考えどころです。現在、組織率が衰退していると言われている自治会などのように、自己満足的な会になってしまっただけでは=毎度集合は同じ顔ぶれでは大変もったいないと思われる活動をしています。神奈川県放射線友の会が老人の憩いの場とすることを強調されるのは否定しませんが、現在老人世代が大変増えているにもかかわらず自治会組織での老人会は減少していると聞いています。神奈川県放射線友の会が同じ轍を踏まない事を切に願うものであります。

付図 1



執行部見解（総括）・・・

アンケート調査にご協力頂き感謝申し上げます。これから向かいつつある少子高齢化、高齢者社会において本会活動の指針となる情報を多く得る事ができました。創立以来 12 年続けてきた活動・企画・事業（見学会、Newsletter、ホームページ開設等）についても一定の評価を得た結果と思われた。年齢層区分、特に 65 歳を境に集計結果より異なる回答が多く見受けられた。詳細に集計結果を検討分析し今後の活動に生かしてゆきたい。本会の年齢構成に関して、80 歳以上が 12 名、65 歳以上が 44 名と高齢者の集団であることが明らかであることも実態として判明した。本会目標の一つである仲間づくり（会員増）を促進し本会執行部の若返りを図ることが、今回のアンケート調査にて最重要課題であることが示されたと思っている。神奈川放友会の活動のベースは『気楽に集まり「過去を語り、現在を語り、未来を語ろう」そんな「憩いの館」でありたい。』というスタンスである。その活動精神は理解されているように感じた。一定の評価を得た「Newsletter」の発行・「ホームページでの情報公開」等を継続し、会員の皆様が期待している情報をもっと提供したいと考えています。会員の皆様にも情報の提供をお願い申し上げます。同職集団の絆、これからの活動計画・事業に多くの会員の皆様の参加・協力をお願いして執行部見解の総括としたい。